



CLASSIC PRO
UPS

UPS 1000PS
UPS 1200PS
UPS 1500PS

USER'S MANUAL
日本語版



株式会社 サウンドハウス
〒286-0825 千葉県成田市新泉14-3
TEL:0476(89)1111 FAX:0476(89)2222
<http://www.soundhouse.co.jp> shop@soundhouse.co.jp

はじめに

この度は CLASSIC PRO UPS PS シリーズをお買い上げ頂き誠にありがとうございます。製品の性能を最大限に活用し末永くお使いいただく為に、ご使用になる前に 必ず本取扱説明書をお読み下さい。尚、お読みになった後は保証書と一緒に大切に保管して下さい。

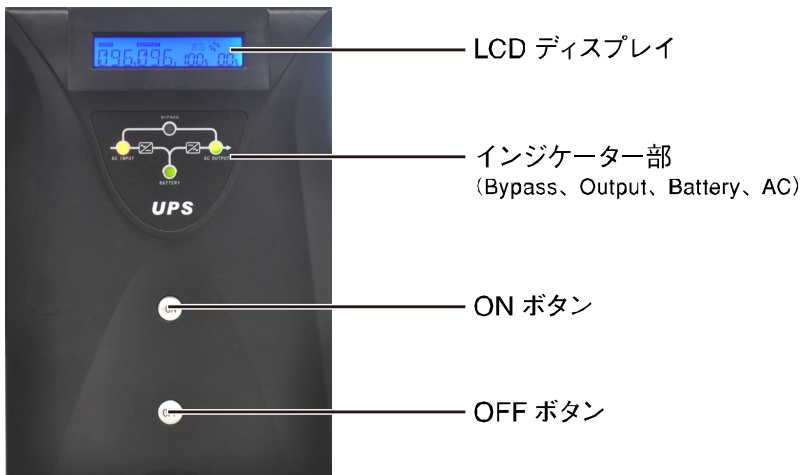
使用上の注意事項

- ご使用前に 12 時間程度充電して下さい。
- バッテリーの放電後、及び本製品を 3 ヶ月以上使用しなかった場合にも、ご使用前に 12 時間程バッテリーの充電を行って下さい。また、バッテリーが十分に充電されていることを確認し、バッテリーにダメージを与えないようにして下さい。
- 本製品は PC、PC 周辺機器専用です。電気モーター、デイトランプ、及びレーザープリンターなどの誘導性負荷、容量性負荷を与える機器に使用しないで下さい。
- 生命維持装置などの用途には使用しないで下さい。
- CRT ディスプレイの近くに設置するときはディスプレイから 50cm 以上離して下さい。
- 本製品使用時に UPS 本体の表面温度が 50°C 程度にまで達することがあります。
- 感電の恐れがあるため本体のケースを開けることは絶対に止めて下さい。
- 万が一製品に問題が生じた場合は直ちに使用を停止し、正規代理店、又は販売店にご連絡下さい。
- 感電、ショートによる発火を引き起こす恐れがありますので、本体内部に液体、異物が入らないようご注意ください。
- 本製品は過負荷防止機能を搭載していません。過度な負荷は本体のダメージにつながる恐れがありますので十分注意して下さい。
- 以下のような環境でのご使用は止めて下さい。
 - 引火性ガス、その他有害ガス及びほこりの多い場所
 - 高温(摂氏 40°C 以上)、極度な低温(摂氏 0 度以下)及び高湿度(90%以上)になる場所
 - 直射日光下、また発熱性の電化製品の近く
 - 振動の激しい場所
 - 屋外

※本製品を使用する際は必ずアースを接続して下さい。

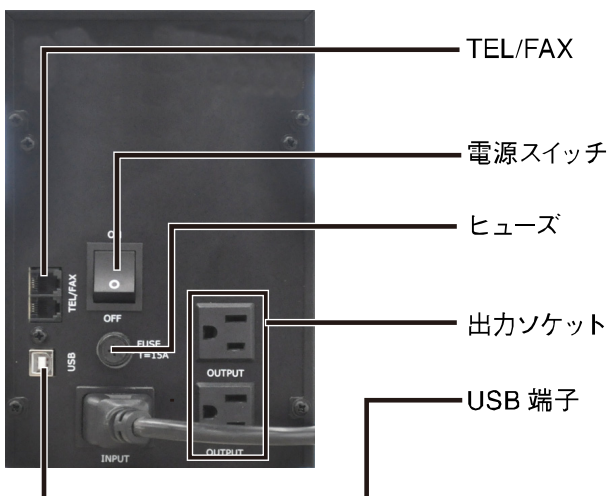
フロントパネル

- ・ LCD ディスプレイ: 入力、出力電圧、周波数、使用割合を表示します。
- ・ Bypass インジケータ(橙): バイパスモードで点灯
- ・ Output インジケータ(緑): AC モード時点灯
- ・ Battery インジケータ(緑/赤): 緑→主電源 ON、赤→主電源 OFF
- ・ AC インジケータ(橙): 主電源 ON 時に点灯
- ・ ON ボタン: 3 秒長押しすると UPS の電源が入り、15 秒以内に電源供給が開始されます。
- ・ OFF ボタン: 3 秒長押しすると UPS は停止しバイパスモードになります。



リアパネル

- ・ 出力ソケット
- ・ USB
- ・ 電源スイッチ
- ・ ヒューズ
- ・ TEL/FAX

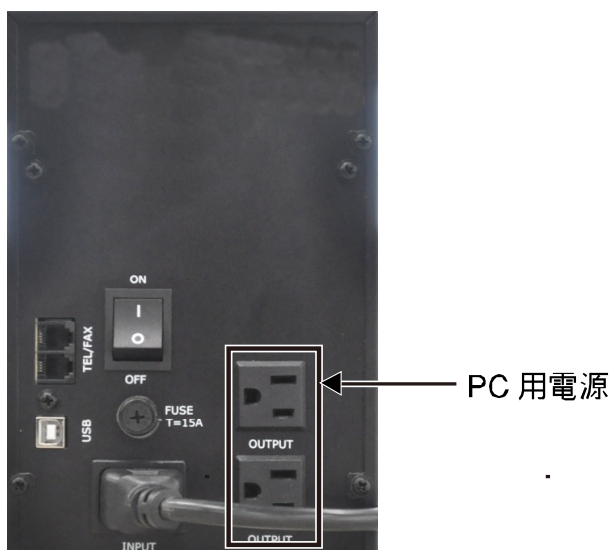


設置と使用方法

設置

1. UPS に接続する機器(PC 等)の電源を切り、電源コードをコンセントから抜きます。
2. UPS を適切な位置に置きます。
3. 機器(PC 等)を UPS に接続します。
4. UPS の電源プラグをコンセントに差し込みます。

注意: オフライン UPS は PC のモニターや PC に電源を供給します。供給時間には限りがある為、プリンターやその他の機器は出来るだけ接続しないで下さい。



5. メインモード: リアパネルの電源スイッチを ON にし、フロントパネルの ON スイッチを長押しし、UPS の電源を入れます。
6. バッテリーモード: リアパネルの電源スイッチを ON にし、フロントパネルの ON スイッチを長押しし、UPS の電源を入れます。
7. UPS の通常使用: リアパネルの電源スイッチを ON にし、フロントパネルの ON スイッチを長押しし、UPS の電源を入れます。
8. 通常の電源の切り方: フロントパネルの OFF スイッチを長押しし、リアパネルの電源スイッチを OFF にし、UPS の電源を切ります。

注意:

- ・通常は UPS の電源を切らずバッテリーを充電し続けてください。

メイン機能

自動運転モード

- UPS を交流電源に接続し、リアパネルの電源スイッチを ON にし、フロントパネルの ON ボタンを長押ししてください。UPS の電源が入り、安定した電圧を出力します。
- 停電が起きると、UPS はすぐに接続した機器に電源の供給を始めます。バッテリーが切れると自動的に UPS の電源が切れます。
- 再び交流電源が流れ始めると、自動的に UPS の電源が入ります。

保護機能

■ バッテリー過放電保護機能

UPS がインバーターモードになり、バッテリーが放電を行っている時に、バッテリー自体の動作状況をチェックし、モニターします。電圧が限界まで下がると自動的にインバーターの電源が切れ、バッテリーを保護します。再び交流電源が流れ始めると、自動的に UPS の電源が入ります。

■ ショート保護機能

インバーターモードでショートが起きた場合、出力する電流を押さえ、UPS を保護します。AC モードでは、まず入力ヒューズによって保護されます。

インターフェース(インテリジェント・モニター機能)

この UPS PS シリーズは、PC と USB 接続ができ、Windows に対応しています。付属のソフトウェアをインストールすることで、使用状況のチェック、UPS の電源が自動的に切れるまでモニターすることが出来ます。

- 交流電流及びバッテリー電圧の状態を自動的にチェックし、アラームメッセージを表示します。
- UPS が自動オフするまでのカウントダウンが表示されます。
- インターフェースは自動的に無停電電源の供給時間を予測、設定し、UPS 及び交流電流のステータスを記録します。
- 停電時、復旧時等に、設定したメールアドレスにお知らせメールを送信することができます。

アラーム機能

- 停電時、4 秒ごとにアラームを鳴らします。40 秒後にアラームは止まります。
- バッテリーの電圧が低下すると0.2 秒の短い間隔でアラームが鳴り、バッテリーが切れる前に長いアラームの後、UPS は停止します。

フェイズロック機能

AC モード時、UPS は交流電流の位相を記録して、インバーターからの出力波形を AC 電圧の波形と同じ形にすることで、ピークパルスやサージ電圧を下げ、接続した機器への障害やダメージを最小限に抑えます。

LCD パネル

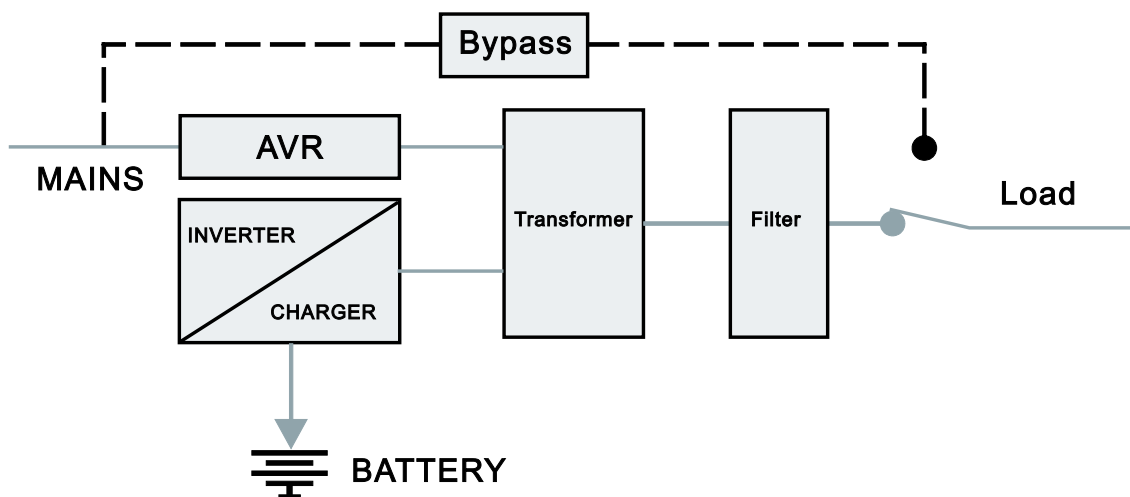
バッテリーの容量、使用割合などを簡単に確認することができます。

出力周波数の自動認識

交流電流の周波数(50、または 60Hz)を検出します。停電時に交流電流と同じ周波数で供給することができます。

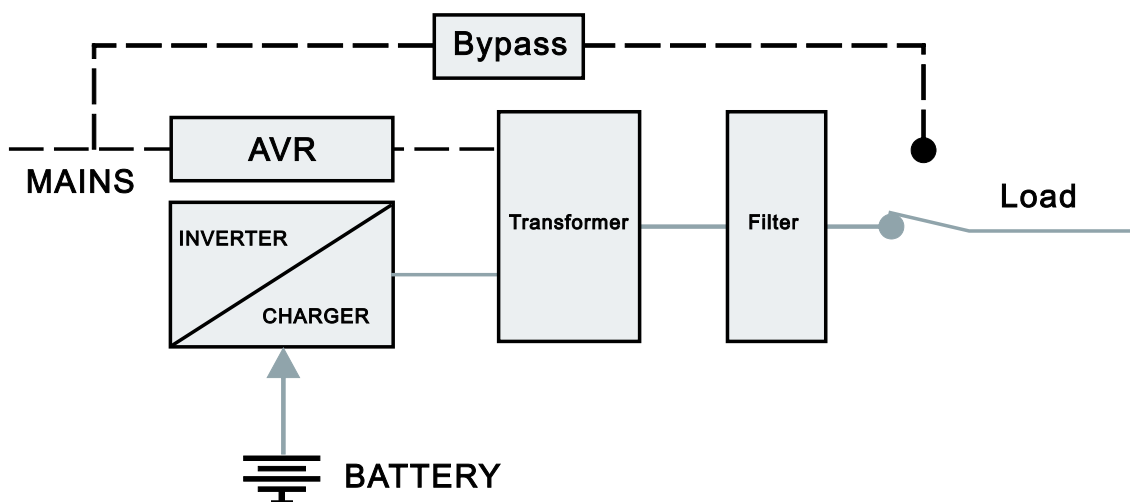
1. AC モード時

UPS が通常動作している際、交流電流はフィルターを通ります。フィルターで有害な波形を除去された電流はバッテリーのチャージを行い、一方でUPS スタビライザーと、もう一つのフィルターを通じて、接続した機器に電源を供給します。

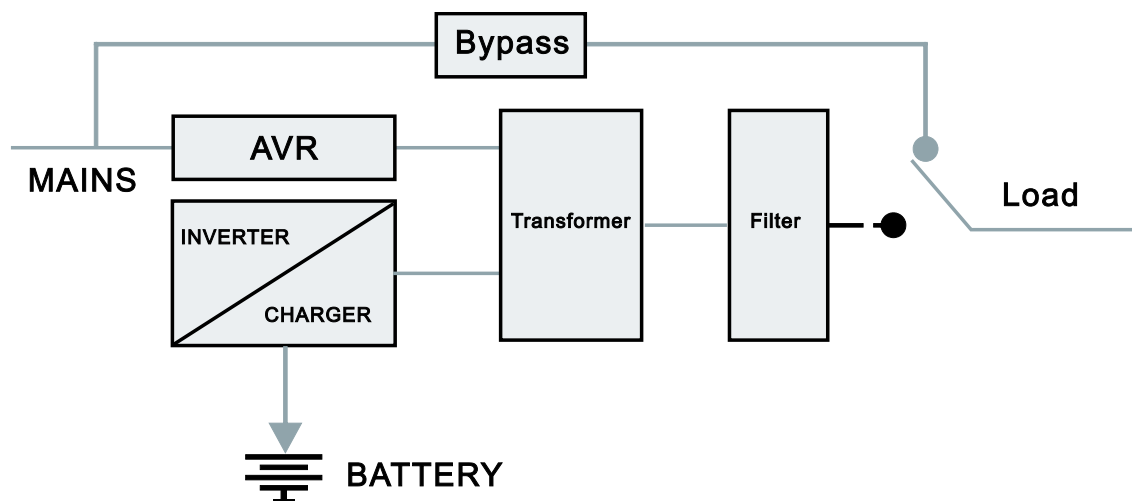


2. 停電時

交流電流がストップするとバッテリーからインバーターに電流が流れ、更にフィルターを通じて、接続した機器に持続的に電源を供給します。



3. バイパスモード



以下の状態の時にバイパスモードで動作します。

- ・ オーバーロード時

110%時: 60 秒、120%: 30 秒以内にバイパスモードになります。

- ・ UPS 故障時

※バイパスモード時、ON スイッチを 3 秒長押しすると AC モードになります。

※AC モード時、OFF スイッチを 3 秒長押しするとバイパスモードになります。

4. バッテリーとチャージ

UPS が電源コンセントに接続されている際、バッテリーは約 12 時間でフルに充電されます。

バッテリーを長持ちさせるためにも、フル充電された状態を保持して下さい。

メンテナンス

トラブルを事前に防ぐ為のメンテナンス

このメンテナンスをすることで UPS をより長く安全にご使用いただけます。

下記のチェックを毎月行ってください。

1. UPS の電源を切る。
2. 通気口がふさがれていないか確認する
3. UPS 本体の表面にほこりが付着していないか確認する。
4. 入力、出力がしっかり接続されているか確認する。
5. 湿気による影響が無い確認する。
6. UPS の電源を入れる。
7. UPS をバッテリーモードで約 5 分間使用し、UPS が正常に動作すれば異常はありません。異常が見つかった場合は販売店にご連絡ください。

バッテリーのメンテナンス

UPS にはメンテナンスの密封鉛酸蓄電池が使用されています。このバッテリーは、使用環境、放電の頻度により使用寿命が変化します。使用寿命はバッテリーを使用していない場合でも短くなっていきます。停電等が無い場合でも 3 ヶ月に 1 度はバッテリーを放電することをお勧めします。

バッテリーの使用寿命が短くなった場合は不具合を起す可能性があります。半年に 1 度、下記の通りバッテリーの確認を行ってください。

1. UPS の電源プラグをコンセントに差込み、UPS の電源を入れる。負荷の状態を覚えておき、最低 12 時間バッテリーを充電する。
2. 負荷の状態を保ったまま負荷の電力合計を記録し、UPS の入力プラグを引き抜きます。UPS は自動的に電源が切れるまで放電し続けます。放電時間を記録してください。
3. バッテリーの定格寿命は通常約 2~3 年です。しかし、高い気温、頻繁に放電等の影響で寿命が 0.5~1 年短くなる場合があります。
4. 時間の経過と共にバッテリーの容量は少なくなり、1 回の放電時間は短くなります。放電時間が当初の 80%程度になった場合はバッテリー確認の頻度を半年に 1 度から 1 ヶ月に 1 度へ変えてください。

トラブルシューティング

UPS はお客様の機器を障害から守りますが、ご使用に際し何か異常が起こった場合は以下の通りに処置し、解決しない場合は販売店にご連絡ください。

また、UPS と接続した機器の破損、データ消失などは保障対象外となります。

症状	処置
主電源は異常なしだが、UPS の電源が入らない。	ケーブルが抜けていないか確認する。 ヒューズを確認する
UPS の電源プラグが AC ソケットに差し込まれ、電源に異常が無いのに AC インジケータが点灯せず、警告音が鳴る	電源プラグを抜き取り、バックパネルにあるヒューズを確認してください。異常がある場合は新品と交換してください
停電が起こったとき PC が機能しない	バッテリーを最低 10 時間充電してください 停電から復旧してから UPS の電源を入れてください。
AC 出力に異常は無いが、警告音になる	電源電圧に異常がないか確認する。

付属品

UPS 本体 1

マニュアル 1

ヒューズ 2

電源ケーブル 1

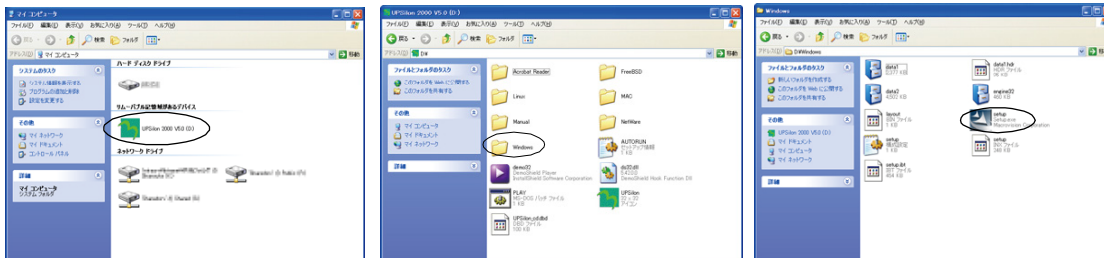
電源管理ソフトウェア CD-ROM 1

スペック一覧

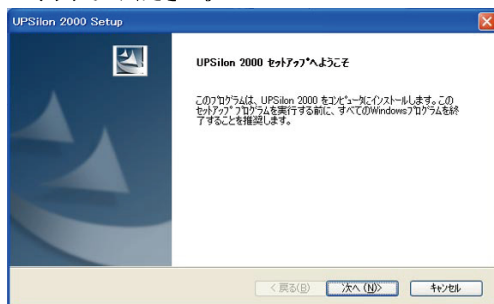
モデル	UPS1000PS	UPS1500PS	UPS2000PS	
容量(VA)	1000VA	1500VA	2000VA	
許容電力(W)	600W	900W	1200W	
入力	入力電圧	100V(±15%)		
	周波数	45-65Hz		
出力	出力電圧	100V(±5%)		
	出力波形	正弦波(通常時/バックアップ時)		
	周波数	50-60Hz(±1%)		
転送時間	5ms(最大 8ms)			
インターフェース形状	USB			
バッテリー	直流電圧	24V	24V	36V
	タイプ	12V7AH×2	12V8AH×2	12V8AH×3
	充電時間	8時間で90%		
騒音	≤45dB			
使用に適した室温	0°C~40°C			
使用に適した湿度	10%~90%			
適合基準	EN62040-2:2006;EN61000-3-2:2006;EN61000-3-3:2008			
IPレベル	IP20			
本体寸法(W×H×D、cm)	14.5×21.5×35.5		14.5×21.5×42	
本体重量(kg)	14.5	15.5	18.5	
総重量(kg)	15.5	16.5	19.5	

UPSilon2000 インストール方法

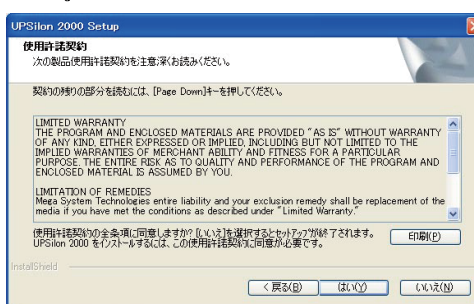
1. 付属のCD-ROMをPCに入れ、CD-ROM内のWindows>setup.exeをクリックして開きます。



2. セットアップ画面が表示されますので、「次へ」をクリックしてください。



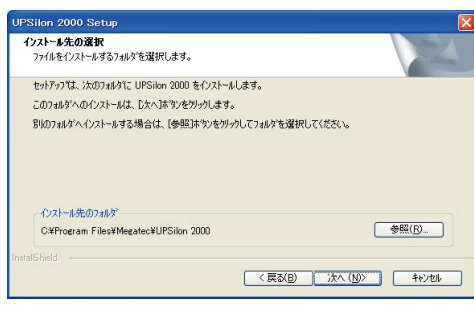
3. 使用許諾契約を読み、「同意」をクリックしてください。



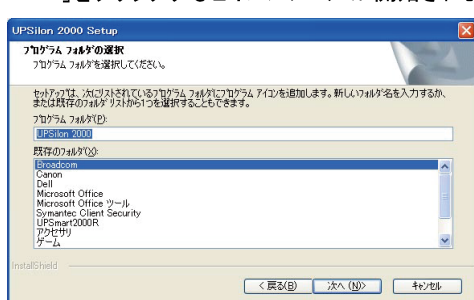
4. ユーザー情報の画面: 名前、会社名、シリアルNOを入力し、「次へ」をクリックしてください。



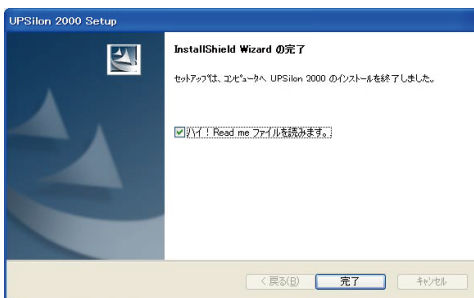
5. インストール先の選択: 変更がなければ「次へ」をクリックしてください。



6. プログラムフォルダの選択: 変更がなければ「次へ」をクリックするとインストールが開始されます。



7. インストール完了です。



※ご使用環境によっては、OSの再起動を求められる場合がございます。

UPSilon2000 停電時の自動シャットダウン設定方法

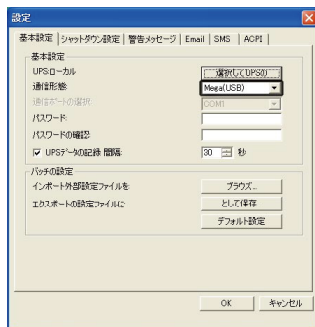
1. タスクバーに常駐されているUPSilon2000をダブルクリックしてください。



2. UPSilon2000のウィンドウが表示されましたら、SETTINGをクリックしてください。

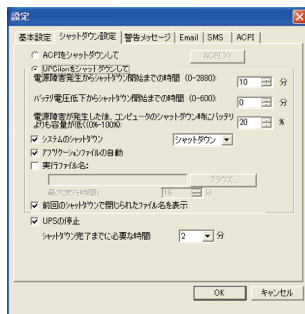


3. 基本設定の“通信ポートの選択”でUPSとPCの接続したポートを選択してください。



4. 自動シャットダウンの設定

- ・バッテリー正常時の、AC電源ダウンからシャットダウン開始までの時間(0 - 2880) 停電時のシャットダウン開始時間を設定できます。
- ・バッテリー消費時の、AC電源ダウンからシャットダウン開始までの時間(0 - 600) 内部バッテリーが消費した際にシャットダウン開始するまでの時間を設定出来ます。
- ・シャットダウン完了までに必要な時間
PCシャットダウンから、UPS停止までの時間を設定します。
※“UPSの停止”をONにしたときに有効になります。
※ PCシャットダウン後、UPSを停止することにより無駄なバッテリーの使用を避け、バッテリーの寿命を長くします。



5. 設定が完了したら、OKを押し、次にUPSilon2000のウィンドウを閉じ常駐した状態にすれば、停電時に自動シャットダウンが行われます。

保証書

ご使用中に万一故障した場合、本保証書に記載された保証規定により無償修理申し上げます。

ご購入日より1年間有効

■保証規定

保証期間内において、取扱説明書・本体ラベルなどの注意書きに基づき正常な使用方法で万一発生した故障については、無料で修理致します。保証期間内かどうかは、サウンドハウスからのご購入履歴により確認を行います。保証期間は通常ご購入日より1年ですが、商品によって異なる場合があります。但し、保証期間内でも、下記のいずれかに該当する場合は、本保証規定の対象外として、有償の修理と致します。

1. お取扱い方法が不適当（例：ボイスコイル焼けなどの故障等）なために生じた故障の場合
2. サウンドハウス及びサウンドハウス指定のメーカーや代理店が提供するサービス店以外で修理された場合
3. お客様自身が行った調整や修理作業が原因となる故障および損傷。もしくは、製品に対して何らかの改造が加えられた場合
4. 天災（火災、塩害、ガス害、地震、落雷、及び風水害等）による故障及び損傷の場合
5. 製品に何らかの理由で異物が付着、もしくは流入したことによる故障及び損傷とみなされた場合
6. 落下など、外部から衝撃を受けたことによる故障及び損傷とみなされた場合
7. 異常電圧や指定外仕様の電源を使用したことによる故障及び損傷とみなされた場合（例：発電機などの使用による異常電圧変動等）
8. 消耗部品（電池、電球、ヒューズ、真空管、ベルト、各種パーツ、ギター弦等）の交換が必要な場合
9. 通常のメンテナンスが必要とみなされた場合（例：スモークマシン等の目詰まり、内部清掃、ケーブル交換等）
10. その他、メーカーや代理店の判断により保証外とみなされた場合

●運送費用

通常、修理品の発送や持込等に要する費用は全てお客様のご負担となります。但し、事前に確認のとれた初期不良ならびに保証範囲内での修理の場合は、弊社指定の運送会社に限り着払いにて受け付けます。その際、下記RA番号が必要となります。沖縄などの離島の場合、着払いでの受付は行っておりませんので、送料はお客様のご負担にて、どこの運送会社からでも結構ですので発送願います。

●RA番号（返品承認番号）

サウンドハウス宛に商品を送る際は、いかなる場合でもサポート担当より通知されるRA番号を必要とします。また、初期不良または保証期間内の修理における着払いでの運送についても、RA番号が必要です。ご返送される場合は、必ずRA番号を送り状に明記して下さい。RA番号が無いものについては、着払いは一切お受けできませんのでご了承ください（お客様のご負担の場合はどの便でも結構です）。

●注意事項

サウンドハウス保証は日本国内のみにおいて有効です。また、いかなる場合においても商品の仕様、及び故障から生じる周辺機器の損害、事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、又はその他の金銭的損失等の損害に関して、サウンドハウスは一切の責任を負いません。

加えて、交換や修理等には当初の予定よりも時間を要することがありますが、遅延に関連する損害についても一切の責任を負いません。また、原則として代替機は、ご用意しておりませんのであらかじめご了承ください。